

新潟市老人福祉センター中之口老人福祉センター 指定管理者事業計画

項目	社会福祉法人 愛宕福祉会(選定者)
1. 事業者の概要	代表者 社会福祉法人 愛宕福祉会 理事長 池田 弘 設立 平成10年7月13日 資産 2,981,416千円 事業内容 第一種社会福祉事業 第二種社会福祉事業 居宅介護支援事業 地域包括支援センターの受託経営ほか 事業実績 新潟市西蒲区福島323番地 新潟市中之口老人福祉センター 新潟市西蒲区福島313番地1 新潟市高齢者支援センター
2. 当該施設の管理運営の基本方針及び管理運営を行う意欲	(1) 基本方針 福祉施設の運営実績をふまえ、利用者が安心して利用できる入浴サービスを提供します。高齢利用者は入浴時に血圧の上昇その他の身体的変調を訴えられる場合もあり、緊急時にも即応できる体制が必要であり、安全な運営を行えるよう努めています。また、地域の施設とし十分に活用いただけるよう、施設運営経験と社会福祉法人としてのノウハウを活かしより良いサービス提供に努めます。 (2) 意欲 平成18年4月より、隣接する特別養護老人ホームと連携しながら地域福祉の拠点として活動してきた。利用される皆様は、疲れの癒しや、気分転換、近所の懇親を深めるためなど、その目的は様々ですが、安全で有意義な時間をご提供できるよう施設整備を行い、利用者からまた来たいと思っていただけるような施設運営を心がけています。
3. 職員研修計画	(1) 職員の配置 ・現場職員配置数 火曜日～土曜日3名 日曜日2名 他に中之口愛宕の園職員のバックアップあり ・職種 運営管理責任者1名 受付担当・設備管理5名 相談業務は中之口愛宕の園職員がバックアップ。 (2) 職員の研修計画 より質の高いサービスが提供でき、職員一人ひとりにとって働きやすい職場であるよう、種々の研修を実施しています。また、事業所ごとで委員会等を構成し、職員間での協議の場や、研修を開催し、資質向上に取り組んでいます。
4. 機密・個人情報保護の管理力	関係法令を遵守し、個人情報を慎重に取り扱っています。職員に対しては、個人情報管理規程により明確な方針を示し、個人情報の取り扱いを厳格に行っており、漏えいした場合は、規程に基づき懲戒処分としています。また、原則として個人情報は施設管理等の安全対策を行うと共に、法人外への持ち出し禁止、第三者への提供条件等を明確にしています。
5. 高齢者への配慮	(1) 見守り、緊急対応について 高齢者にとって体調管理は重要であり、特に入浴による急激な血圧上昇など健康に影響を及ぼす危険性を軽減するため、自動血圧計を設置して入浴前後に測定できるようにしています。また、緊急時においては隣接する中之口愛宕の園(特養およびデイサービスセンター)の介護、看護スタッフが即時に対応できる体制を整えています。 (2) 健康相談窓口の設置 当施設において健康相談や福祉相談が行えるよう人員体制を整え、各種相談に応じられるように努めます。
6. 利用者へのサービスの向上	(1) 利用者へのサービスの向上 ・入浴サービスをより快適にするため、設備管理を徹底し、衛生管理に努めます。 ・ご利用者が安心できる環境をご提供するため、隣接施設のバックアップ体制を継続していきます。 ・介護教室等を開催し情報提供の場として活用していただけるよう努めます。 (2) 利用者のニーズの把握と反映 利用者からの要望は、アンケートの実施や職員が直接お聞きするなどして、可能な限りサービスに反映させています。さらに詳細なご要望を把握するため、アンケート項目の見直しを進めています。なお、施設の所在する地域ごとに「地域運営委員会」を設置し、地域の要望や問題点の指摘を受け、旧中之口地域からも2名参加いただき地域の意見として活用されています。
7. 衛生管理・安全対策	(1) 衛生管理 ・浴槽、浴室の衛生管理は、万全を期しています。日常業務として毎日の水の入れ替え、洗い場の清掃は徹底して行い、休館日の月曜には毎週専門業者による浴室の清掃を実施し、隔週で配管の洗浄も実施しています。 ・水質の管理に関しては循環式ろ過とともに塩素殺菌を実施し、朝、昼、午後と日に3回の残留塩素濃度測定をしています。 ・脱衣場は毎日掃除機を掛け清掃し、感染症対策として脱衣かごや掛け棚は入念に拭き掃除を行って衛生管理に努めています。 (2) 安全対策 ①防犯 不特定多数のご利用者が入り出る施設であり、入口脇に受付があり、営業時間中は常に人の出入りに注意を払っている。また警備会社の機械警備システムを導入し、常時不審者の侵入や火災の発生などを監視しています。 ②防災 利用者の安全を確保することは一番重要なことと考え、火災発生時など避難誘導が行えるよう、併設の社会福祉協議会と防災訓練を共同で行っており、中之口愛宕の園職員との協働により、避難誘導体制を整えています。 ③事故 施設設備の不備不良による事故はあってはならないことであり、点検整備は日常的に実施します。利用者の体調不良などの緊急時に備えマニュアルを整備し、迅速に対応できるよう努めています。 ④その他、緊急時の対応 自衛消防組織を整備しており、初期消火や救護、避難が迅速に行えるよう定期的に訓練を行っています。
8. 管理経費削減の取り組み	(1) 支出計画 【収入】計16,800千円(内訳:委託料16,800千円 自主事業収入0円) 【支出】計16,800千円(内訳:人件費6,426千円 管理費7,545千円 事務費1,167千円 事業費1,321千円 事務経費341千円) (2) 経費削減の具体的な取り組み 隣接する特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどと共通する委託料・備品購入等については、業者に一括委託し経費の合理的削減を図っています。また、管理者や相談業務の担当者を隣接施設と兼務することで人件費の削減に繋がっています。また水道光熱費の削減対策にも積極的に取り組み、サービスの低下にならないことを前提に、電気・空調等の調整、湯温調整を徹底します。
9. 健康づくり、介護予防についての情報収集及び提供	当法人が運営する各事業所では、日常的に高齢者の情報収集にあたっており、特に地域包括支援センター(中之口・潟東/阿賀北)では地域の拠点事業所として情報収集に努めています。また、地域包括支援センターでは、地域の老人会に参加するなど様々な機会を積極的に利用して介護予防知識の普及を図っています。
10. 高齢者生きがい推進事業等実施に関する提案	高齢者が社会生活を維持するために必要な身体・精神の両面からサポートし、生きがい推進事業の実施に努めます。 1) 生きがい活動支援事業 一人暮らし高齢者に対してセンター利用を促進し、活動的に生活できるようにサポート。 2) 地域ふれあい体験交流事業 児童生徒と高齢者が遊びや軽スポーツ、昔話の読み聞かせ等を通じて交流を深める事業の実施。 3) 体操教室 活動的な生活を維持していくために身体能力の低下を防止するための体操教室の実施。 4) 創作活動教室 高齢者の趣味を活かし創作的な活動を通じて生きがいを持ち充実した日々を過ごすための教室の実施。
11. 併設施設での施設管理における協力体制及び問題点とその対応策	社会福祉協議会と事務室を共有しており、日常的にそれぞれの施設の状況を把握しやすい状況にあります。避難訓練を合同で実施するなど具体的な活動は行われております。今後さらに関係を密にするため、日常的な情報交換や共同行事の開催などを検討していきたいと考えています。